

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 全身浮腫と妊娠高血圧腎症の関係についての研究

【研究機関】 北海道大学病院産科

【研究責任者】 山田 崇弘（産科・助教）

【研究の目的】

妊娠高血圧腎症とは妊娠 20 週以降に初めて高血圧を発症し、かつ蛋白尿を伴うもので、分娩後 12 週までに正常に復するものと定義されていますが、発症のメカニズムについては未だ十分に解明されていません。現在の診断基準では妊娠中の浮腫単独では妊娠高血圧腎症の診断とはなりません。私たちは妊娠中の急な体重増加、浮腫（むくみ）も妊娠高血圧腎症との関係において重要ではないかと考えています。

全身浮腫を前兆とする妊娠高血圧腎症は稀であり、通常、一度発症した妊娠高血圧腎症は妊娠中に改善することはないと考えられています。北海道大学病院産科にて診療した患者さんにおいて、妊娠中期の全身浮腫を前兆とし、その後妊娠高血圧腎症の診断となりましたが、通常の臨床経過とは異なる転帰をとった患者さんを診療しました。全身浮腫を前兆とし、妊娠高血圧腎症に至った症例の臨床経過を詳細に検討することで、重症周産期疾患である妊娠高血圧腎症の初期症状としての浮腫の意義を研究することを目的としました。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 2 月から 2012 年 3 月までの間に北海道大学病院産科に通院または入院した全身の浮腫から妊娠高血圧腎症を発症した患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、身体所見、治療内容、検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院産科 担当医師 山田 崇弘

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711